

知って得するCOVID-19の感染対策

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会では、下記のようなセミナーをオンラインにて開催いたします。

本セミナーが日常の感染管理の改善に少しでもお役に立てればと願っております。

ぜひご参加賜りますよう、謹んでご案内申し上げます。

代表世話人 京都府保健環境研究所 所長 藤田 直久

開催方法
日時

■ライブ配信 パート1 : 2022年5月14日(土) 14:00～16:00(終了)

パート2 : 2022年5月28日(土) 14:00～16:00(終了)

■オンデマンド配信 : 2022年6月15日(水) 9:00～6月28日(火) 12:00

2022年6月21日(火) 9:00～7月4日(月) 12:00

パート1 5月14日(土) 14:00～16:00

■感染管理ベストプラクティス事例報告(14:05～14:25)

美杉会グループ介護施設COVID-19事例報告

社会福祉法人美郷会 介護療養部 介護士長/ケアワーカー感染管理リンクスタッフ委員会委員長
三浦太郎先生

■教育講演(14:30～15:00)

全ゲノム解析でCOVID-19のクラスターを分析する

京都府保健環境研究所 所長 藤田直久先生

要旨)新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、エンベロープを持つRNAウイルスで、ウイルスゲノムは約3万の塩基で構成されている。全ゲノム解析とは、新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)のゲノム配列を次世代シーケンサーで読み取り、世界中のSARS-CoV-2の登録された配列と比較することができ、変異株の流行状況の把握だけでなく、抗体療法の効果や感染力の推定などが可能となる。さらに、地域で流行しているウイルス株の状況のみならず、実地疫学調査を加えることで施設内で発生したクラスター発生の感染経路を推定することもできる。

■特別講演(15:00～15:50)

医療介護施設におけるエアロゾル感染の実態と改善

国立大学法人 電気通信大学 特任准教授 石垣 陽先生

要旨)医療介護・託児施設や事業所において、エアロゾル感染が発端とみられるCOVID-19の集団感染が相次いでいる。国立感染症研究所は今年3月末に、接触・飛沫に加えて新たにエアロゾル感染を第一の感染経路として挙げ、警戒を呼び掛けている。しかしエアロゾル感染と一口に言っても、その原因是差圧、風下、送風機、換気不足など現場によって様々であり、対策も千差万別となる。さらにエアロゾルは目に見えにくいため、現場への介入や防護のためには特別な測定系や手技が求められる。

本セミナーでは集団感染が発生した医療介護・託児施設や事業所への立ち入り調査について紹介し、その結果からエアロゾル感染の実態を可視化する。その上で、具体的なエアロゾル感染防止策とその効果・コストも議論する。

パート2 5月28日(土) 14:00～16:00

■感染管理ベストプラクティス事例報告(14:05～14:25)

ベスプラを活用した地域の高齢者施設への支援～行政と連携した取り組み～

津久見市医師会立津久見中央病院 看護部長 感染管理認定看護師 戸田美穂子先生

■教育講演(14:30～15:00)

COVID-19の感染対策をベスプラに導入するためのコツ

一般社団法人日本感染管理支援協会 代表理事 土井英史先生

■特別講演(15:00～15:50)

高齢者施設等における平時における感染対策の重要性について(BCPの意義と効果)

社会医療法人仁愛会浦添総合病院 室長/感染管理者/感染管理認定看護師 原國政直先生

要旨)平時からの感染対策がいかに重要でかつ、感染対策が負担にならないために「なに」をするべきなのかを考える研修となります。

●参加申込:日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会ホームページ (<http://www.bespra-ic.net/>) より
お申込みください。トップ画面 → セミナー

●参加費:無料 ●定員:500名 ●オンデマンド配信申込締切:2022年7月4日(月)11:00

●問合せ:日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会事務局 jipspb@kao.co.jp (花王プロフェッショナル・サービス(株)内)

主催:日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 共催:一般社団法人日本感染管理支援協会、花王プロフェッショナル・サービス(株)